

競合構造と戦略示唆まで導く、IPランドスケープ実務を習得！



医薬品・バイオ特許におけるIPランドスケープの実践

ー特許分析・可視化と戦略示唆、生成AI活用の実際ー

- 日 時：2026年11月17日(火) 13:00～17:00
- 聴講料：1名につき 49,500円（消費税込、資料付）
- 会 場：Zoomを使用したLive配信セミナーです。（1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円（税込））
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。（大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。）
- 講師：エスキューブ(株) 代表取締役／エスキューブ国際特許事務所 所長 田中 康子 氏

【講座主旨】近年、IPランドスケープを経営戦略、研究開発戦略、知財戦略に活用することが求められています。特に、薬事規制の影響を強く受ける医薬品・バイオ分野においては、他の技術分野とは異なる情報や視点に基づくIPランドスケープの実践が必要です。

本講座では、医薬品・バイオ分野の特許を対象に、IPランドスケープの基本概念から、目的設定、検索式の検討、特許情報の収集・整理、漏れ・ノイズ対策、分析用データの整形、請求項・明細書・実施例の読み取り方、定量分析とマップ化、競合分析、強み・弱みの把握、戦略示唆の導き方までを実践的に解説します。

また、生成AIについては、検索語の検討、特許情報の整理、要約、分類、レポート作成などを支援するツールとして位置づけ、その有効な活用方法と限界を整理します。

- 【講座内容】
1. イントロダクション
- 1.1 IPランドスケープとは何か
- 1.2 医薬品開発におけるIPランドスケープの位置づけと活用
- 1.3 生成AIの活用（支援にとどめる）
2. 特許情報の収集・整理（AIの活用を含む）
- 2.1 IPランドスケープの目的の設定
- 2.2 検索式の検討と情報収集
- 2.3 検索結果・収集データの検証（漏れ・ノイズ対策）
- 2.4 分析用データの整形（AIにインプットするための前処理）

3. 医薬品・バイオ特許の読み取り方と分析
- 3.1 請求項・明細書・実施例の読み取り方
- 3.2 物質特許・用途特許・製剤特許・製法特許の分析
- 3.3 疾患・標的分子・作用機序・モダリティによる特許分析
4. 特許情報の定量分析とマップ化
- 4.1 出願年推移、出願人ランキング、国・地域別動向の分析
- 4.2 疾患・標的分子・作用機序・モダリティによる出願動向分析
- 4.3 基本特許・周辺特許・権利存続状況の可視化
- 4.4 競争激化領域とホワイトスペースの把握
5. 特許情報から見る競合分析と強み・弱みの把握
- 5.1 特許情報からの競合分析
- 5.2 重要特許・要注意特許・リスクの抽出
- 5.3 強み・弱みの把握と対策の方向性
- 5.4 自社出願戦略・周辺特許戦略への活用
6. ケーススタディ：
- 特許情報の収集・分類・可視化から戦略示唆まで
7. 経営・研究開発・知財戦略に活用するアウトプットの作成
- 7.1 IPランドスケープレポートの基本構成
- 7.2 生成AIを活用したレポート作成・プレゼン資料作成のポイント
- 7.3 AIによる誤分類・誤要約・ハルシネーションへの対応、その他注意点
- まとめとQ & A

（内容は若干変更になる場合があります）

セミナー申込書

「医薬品・バイオ特許」セミナー No.611115 11／17

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。 <https://www.gijutu.co.jp/>

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			